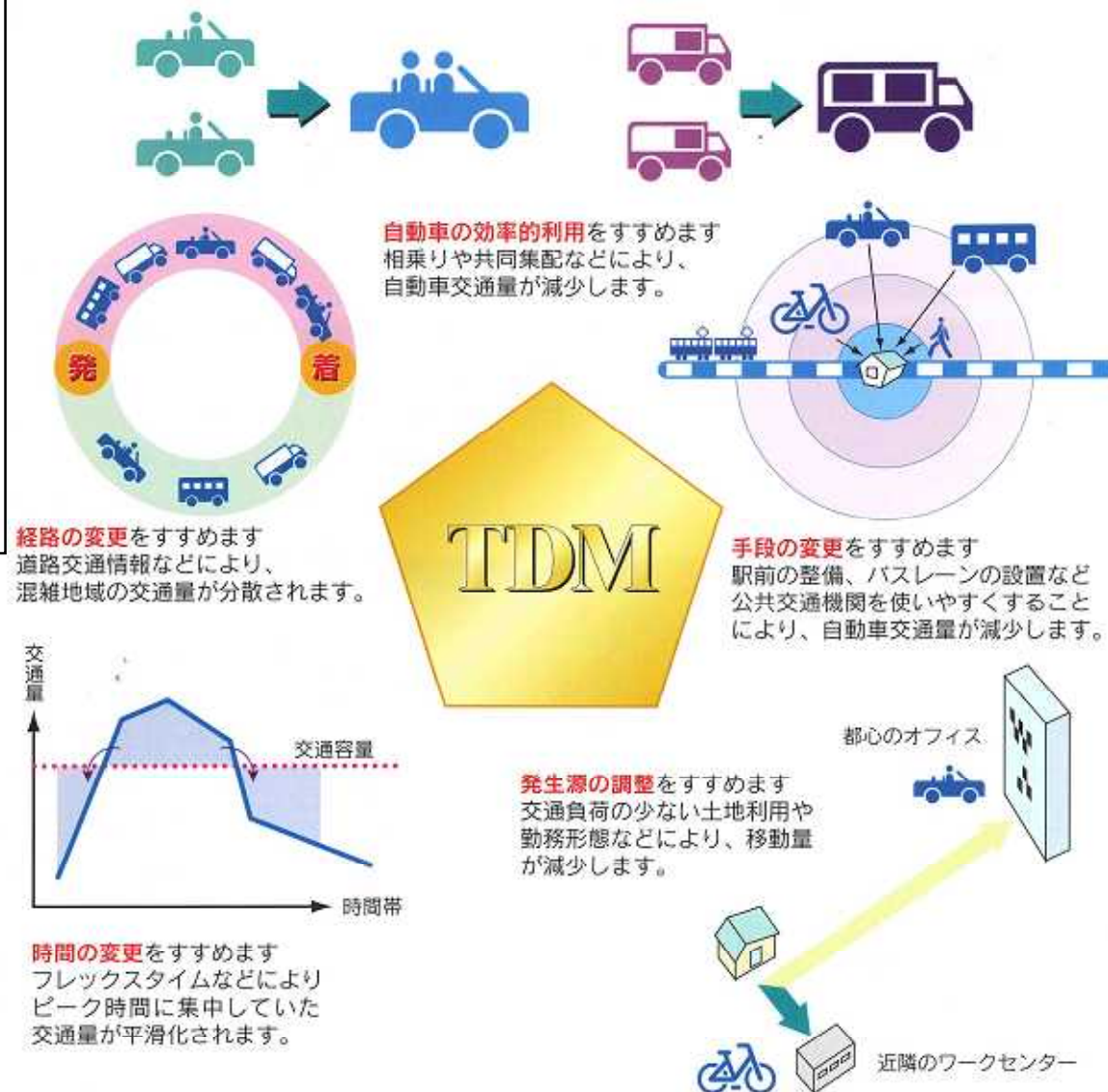


【TDM(交通需要マネジメント)】

・TDM(交通需要マネジメント)とは、
Transportation Demand Managementの略

・道路利用者に、交通手段の変更、時間の変更および自動車の効率的利用等、交通行動の変更を促すことによって、交通渋滞の緩和や環境改善(Co2削減など)を図る手法。



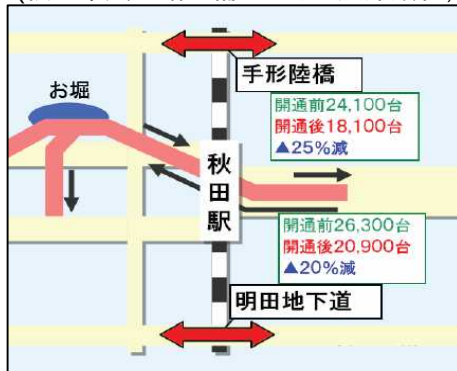
TDM施策の必要性

- ・TDM(交通需要マネジメント)施策とは、自動車利用者の交通行動の変更を促すことにより、道路の交通混雑を緩和する手法 (Ex.公共交通や自転車の利用促進、時差出勤、相乗り等)

【 渋 滞 対 策 】

・これまでの渋滞対策は、道路整備等のハード施策を中心に実施し、対策箇所では渋滞は着実に減少しているが、**まだまだ渋滞は残る**

▼ハード施策による渋滞緩和効果例
(秋田中央道路整備における渋滞緩和)



- ・手形陸橋、明田地下道で合わせて約11,400台/日の交通量減少
- ・千秋トンネル交差点では東西方向の渋滞長で最大400m短縮

▼秋田市内の渋滞状況
(資料:VICSデータ)



- ・渋滞対策のための道路整備事業は、完成までに多くの時間と予算を必要とする
- ・新たなバイパス等の事業化は困難な状況

【 社 会 背 景 】

- ・地球温暖化問題等を背景とした、環境に対する県民意識の高まりや活動の広がり

- ・過度な自動車依存から脱却し、環境にやさしい公共交通や自転車等への転換を促進するよい機会

- ・秋田市内では、様々なTDM施策に取り組んでいる (Ex.毎月第4金曜日のエコ交通の日、時差出勤等)

▼エコ交通キャンペーン
(H15～ トラック協会、県等)



▼「ストップ・ザ・温暖化 あきた県民会議」の設立事例

- ・県民、事業者、行政が幅広く参加、連携して、地球温暖化対策を積極的に推進することを目的として、平成19年10月設置
- ・20以上の団体が参加
- ・定期的にメールマガジンを配信



▼継続している時差出勤
(H18～ 県庁)



市民の協力を得ることにより、少ない予算でかつ短期的に行える渋滞対策である「TDM施策」を一層推進し、渋滞緩和を図ることが重要